

古民謡に 無産婦人 下

小 鹿 角 夫

紡績女工とたらの水は 持ちもかつきもなりはせぬ。 たらひをたひらと読み聞 達へて、ミス、平諸嬢と怒 つてはならぬ。 津島紡績煙突高い、中に 工女の憤は安。

河 伯 讚 島 田 忠 夫

牛久沼の芋銭書老、ふかく河童を愛でて沼中に 常に在りと告給ふ。かつて樺人松下一郎君、一 夜半老に伴はれ沼畔に河童の聲を待つと

元禄名妓傳

小 邑 井 小 巴 演 (宮野恒彦) 二八席 五「旦那どうすね讀め ますかへ」四「何だ五兵衛 讀め」三「何だ五兵衛 讀め」二「何だ五兵衛 讀め」一「何だ五兵衛 讀め」

花 散 れ ば

おらが娘は花散れば 花散れば 花散れば 花散れば 花散れば 花散れば 花散れば 花散れば 花散れば 花散れば

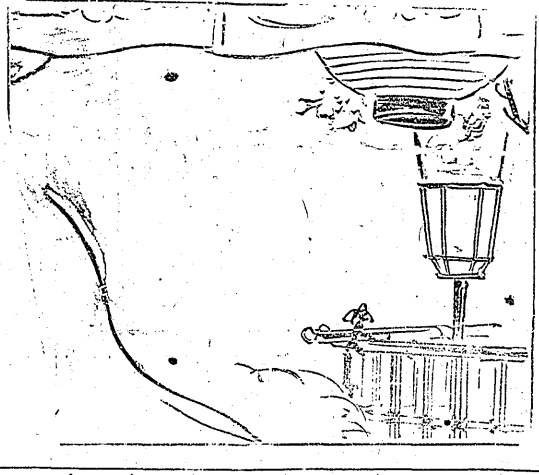
市川健次

青田の風 (童謡詩) 市川健次 青田とよよ 日ぐれとなれば きつと吹きます 涼しい北風が さらん電車も あかりを灯けて 青田の風に ふかれて通る

行發日十二月七 (刊休日翌日祭曜日)

蘇格蘭の平民詩人也、詩も分なもた、易ではない私の家へ馬込の半助爺が△正午△時報 歌は天真爛漫として真情!△五「どうせう旦那、十八になる器量の好い娘が△〇〇五音曲(吹き寄せ) 流露し何人と雖も之を誦すべし(紀一、七九六)

△正午△時報 歌は天真爛漫として真情!△五「どうせう旦那、十八になる器量の好い娘が△〇〇五音曲(吹き寄せ) 流露し何人と雖も之を誦すべし(紀一、七九六)



くや、海の上。 三、四〇〇 時報 ニュー 氣象通報 番組報告 告知事項 生駒相場

△九、四〇〇 時報 ニュー 氣象通報 番組報告 告知事項 生駒相場 △七、四〇〇 放送舞臺劇 (二月堂) 尾上梅幸一座 △八、三〇〇 獨唱と管絃樂 獨唱: 關種子 △九、〇〇〇 連續講談(荒木最期助太刀) 一龍齋貞山 △九、四〇〇 時報 ニュー 氣象通報 番組報告 告知事項 生駒相場

Advertisement for '運動具と服装!!!' (Sports Equipment and Clothing!!!) featuring 'マルカ運動具部' (Maruka Sports Equipment Dept) and '美奈登家' (Minadenka).

Advertisement for '大和病院' (Yamato Hospital) and '色川木材株式会社' (Ishikawa Wood Co.), listing various medical services and products.

修港補助の内幕

二つの魚と五つのパンを基本として飢えたる群衆に之を分ち與へるは其残りが十二の箇に満ちた。...

陰慘なる當今の世相は 我黨が之を樹て直さん

木村代議士議事報告演説會 内郷、好問で積極政策を強調

躍進の七七銀行

東京以北の覇を稱す 平にも優勢なる支店を有し、二百萬の増加を示した東京山田支店長の敏腕によつて...

農業振興策協議

頗有意義な催として 其の結果を刮目する 石城郡下に於ける各種農業振興策協議を主眼とする主任並に米輸出強所長...

好問も盛會

急彼の拍手裡に壇を下る時 門的立且つ細密なる調りてある 査を遂げられるものと見ら

軟式野球豫選の 次回は二十六日

感興が最高潮に達して 惜くも日没の爲打切り 時新報社主催の全國軟式野球大會...

平第一敗る

福島から歸る 曾我校長引率の下に福島市の全國少年野球大會豫選に...

震源地は石城沖

昨夜の地震に就て 小名濱測候所の観測 昨十九日夜九時二十分頃郡に於て...

菊地自動車

幼女を轢く 平町才地小路菊地自動車運轉手内村御堂境菅本界...

古河復興

翌日より採炭開始 去る十六日朝古河村古河炭坑受けた各方面へ禮状を發し...

變態の氣温から 飛び出すキノコ

俗稱五ヶヶ採りて 日新舞子附近賑ふ 頃日來の雨天も一時回復しを見せてゐる十九日の日照...

自轉車乗り咬る

材木町で菓子店員御難 平町材木町菓子店大鶴屋事飛出して同人の足に咬傷...

豊間の客寄せ

各方面へ勧誘状 名は二十日間の豫定で 豊間海岸に水泳講習會を開く事となつた同村で...

二丈餘の崖上から 夏井川へ眞つ逆

白銀青年團員數名負傷 今曉川前村地内で 自動車三臺に分乗し日光見古物店に密着した事を平署...

吉田氏歸省

けふ九州へ 入山抗務所長吉田宗雄氏は 秀之助(四)の諸君は何れも...

カマを抜く

紺屋の口論 平町紺屋町日屋草野野徳之 方で同坑夫白坂福松(三)と...

暑中御伺

各位さま 町 三三三三三 電話三三三番 昔しから未の年は病な...

土用の丑の日には 土用の丑の日には

土用の丑の日には 土用の丑の日には 土用の丑の日には 土用の丑の日には...

石川亭

大蒲焼 五十錢 小蒲焼 四十錢 柳 三十錢...

平町新風景

吾に途あり 節約緊縮の丑の日 緞香満喫の牛の太腿鑑賞

農業振興策協議

頗有意義な催として 其の結果を刮目する 石城郡下に於ける各種農業振興策協議を主眼とする...

震源地は石城沖

昨夜の地震に就て 小名濱測候所の観測 昨十九日夜九時二十分頃郡に於て...

菊地自動車

幼女を轢く 平町才地小路菊地自動車運轉手内村御堂境菅本界...

吉田氏歸省

けふ九州へ 入山抗務所長吉田宗雄氏は 秀之助(四)の諸君は何れも...

カマを抜く

紺屋の口論 平町紺屋町日屋草野野徳之 方で同坑夫白坂福松(三)と...

暑中御伺

各位さま 町 三三三三三 電話三三三番 昔しから未の年は病な...

土用の丑の日には

土用の丑の日には 土用の丑の日には 土用の丑の日には 土用の丑の日には...

十週年記念報恩 割引大賣出し

大正十一年大蒲焼開始以來茲に十週年其間各位の御ひびきに預り弊店今日其隆盛を得ました事を深く感謝致します...